

半田更生保護サポートセンターだより

情報発信を通じて更生保護の諸活動に対して地域の理解や協力が十分に得られるように努めます。

vol. 14 2026.01



明善記念館(浜松市)にて(藤條会長・金原利幸館長)

亀三郎と明善の更生保護

半田保護司会の皆様。明善記念館にご来館頂きありがとうございます。

私は明善の玄孫に当たり、更生保護関係では、静岡県更生保護協会・静岡県勸善会の理事を拝命しており、皆様の常日頃のご協力に感謝します。

明善は、豊かで幸な日本国を作る事が目標で、河川治水事業、植林事業、天竜木材(株)や天竜運輸(株)(日通の鉄道部門、遠州鉄道)等の企業、三方原用水等の利水事業を行い、必要資金は都会の金原銀行等で稼いでいます。更生保護事業もその一環です。

亀三郎は、明善の薫陶を受けた川村静岡監獄典獄に獄中で感化を受け、出獄し明善に会っています。亀三郎は明善に気に入られ(山崎延吉は、義兄弟とまで言っている)山岡鉄舟を紹介され門弟となります。亀三郎は帰郷後、組を解散し組員と「弱者救済事業」を始めます。

此処から亀三郎は土地・資金・ノウハウ等が必要な苦難の日々が始まりました。明善は地元の有業者、愛知の政財界の人々、全国の関係者を紹介し、彼らの協力には礼状を出すなどのバックアップを行っています。

明善記念館 館長 金原 利幸

きんばら としゆき



特に明善の親友・山崎延吉(安城農学校長)には牧畜事業を始め全般的な協力を依頼しています。

明善の思想は「仏教・報徳・吉田松陰」の三つが中心です。

「仏教」からは「清貧・利他の心」「人を見て法を説け」が見られます。

「報徳思想」からは、至誠(真心を持って取り組む)勤労(大きな目標に小さな事から休まず励む)分度(自分の状況を理解し適量・適度)推譲(得た利益を他者や社会に還元)。現在大リーグで活躍中の大谷翔平(報徳校訓の花巻東高卒)が将に具現化しています。明善の全ての事業は報徳庄屋ネットワーク(私の造語)の協力を得て全国に展開しています。

「松陰の思想」からは、人皆平等(国会の「君」呼びに繋がる)、教育(人皆教師、生涯学習)、立志、改革等です。

皆様には、更生保護事業への益々のご協力をお願いします。

★明善記念館、見学のお誘い

グループでの予約に、講演付き

(月・火・水曜・年末年始、休館)

浜松市中央区安間町一番地

053-421-0550

金沢一泊視察研修報告

研修部会長 藤田千晴

10月22日(水)午後に金沢刑務所、翌23日(木)午前湖南学院(少年院)を視察しました。行きの中からDVD研修を行い、盛り沢山な内容でタイトな行程でしたが、充実した研修でした。

今回は、刑務所と少年院を視察することで、違いを感じ、また、両施設共、説明・見学後にグループに分かれて、質疑及び意見交換を行い、学びを深めることができたと思います。金沢刑務所では、初めて刑務所を視察した会員から、「刑務作業中の受刑者を間近で見学し、その真摯な姿勢に心を打たれた」という声がありました。また、拘禁刑の施行により、新たに製作されることになった金沢の帯の魅力を生かした素敵な作品「Miyabi Bag」を見ることができました。湖南学院は明るい施設で、入所少年に「くさん」と敬称を付ける取組に、支援の在り方を考えさせられました。

出発時は小雨でしたが、その後は天候にも恵まれ、兼六園や近江町市場等で北陸の文化に触れ、宿泊先では、会員同士の交流も深まり、7年ぶりの宿泊研修は、有意義なものになりました。感謝！



はんだふれあい産業まつりにおいて

犯罪予防部会長 田中克佳

犯罪予防部会として初めてブース参加させていただきました。生憎の雨の中でしたが大勢の方におこしいただき充実した1日になりました。

名古屋刑務所さまのご協力により、刑務所作業製品の販売、神原弱者救済所パネル展示、「社会を明るくする運動」の啓発活動として子どもたちにぬり絵を描いていただきました。

作業製品は全国の刑務所で常設の展示場やイベントとして、展示即売会等も開催されているようです。出所後も生活の安定の為に作業所で得た技術やノウハウが、こうした場所で生かされるといいと思いました。

また、子どもたちに描いていただいたぬり絵も、保護司会のメンバーから「ホゴちゃん」「サラちゃん」や「幸福の黄色い羽根」の説明を受けながら、親御さんと一緒に楽しく塗っている姿もほのぼのとした時間でした。



「社会を明るくする運動」幼稚園保育園訪問

協力組織部会長 関剛

11月7日、毎年恒例の園訪問を行いました。例年は保護司会、更生保護女性会の共催事業ですが、今年は半田市議会の協力も得て開催することが出来ました。初めての試みの為、9月に名古屋保護観察所より社会復帰対策官を講師に招き3団体合同で「社明運動研修会」を開き事前に運動に対する理解を深めました。

訪問当日は更生保護女性会の方々が準備して下さったペープサートを活用したり、各地区それぞれのアイデアで園児さん達に分かり易く伝える工夫をしたりする姿が見られました。議員さん方も初めての経験ではありましたが、大きな身振り手振りで優しく接するよう努めていただいた様子がとても印象的でした。

大切そうに「愛の鈴」やリーフレットを鞆にしまし、園児さんの姿を見て、家庭に帰ってから少しでもこの運動についての話が家族の会話に出るといいなあと感じた温かいひと時でした。



発行：半田保護区保護司会
協力：半田商工会議所

半田更生保護サポートセンターだより vol.14 2026.01
〈お問合せ先〉半田更生保護サポートセンター TEL 0569-84-0683
半田市東洋町二丁目1番地 半田市役所2階



半田更生保護
サポートセンター
公式SNS



半田更生保護
サポートセンター



@HANDA_HOGOSHI



@handa.hogoshi



フォローお願いします